④法律上の問題はあるが、不必要な出動を抑制するため一定の有料化は必要である。

市川　陽子　議員

・福祉施策について
・旧山武地域巡回バスについて

Q ①市で開催している「ことばの教室」の定員数がいっぱいで指導を受けられなかったとの相談がありました。子どもの将来に大きく影響が生じることが懸念されますが、取り組みをお聞かせください。
②巡回バスのルートを成東病院、市役所へと市民サービスの拡充を提案しますが考えをお聞かせください。

A ①現在、成東小学校「ことばの教室」の在籍は１名です。蓮沼・山武地区の普通教室から通級している８名の児童も対応していますので計９名です。今後、校内体制の中で努力し、教育委員会も推進支援します。また、保健福祉部では19年度、早急に言語視聴覚障害児相談を臨時で回数を増やし、小学校就学前に対応を図ります。
②将来的に少しずつでも巡回コースを広げていき、コースの見直しも含め、市内全域でのサービスの確保に努力します。

鈴木　清勝　議員

・合併後の山武市の実態について

Q ①山武支所の庁舎建設は。
②平成11年から４haの借地へ２千数百万円の予算を投入し、ヤマユリの球根４千５百球植栽し２百本位しか開花しないのはなぜか。
③成東病院の再建状況について
④医療センター構想について

A ①総合支所方式から本庁方式へ移行の中では９億円を生かした建設はせず、まちづくり交付金という有利な制度を導入して、全市民が集える健康増進文化交流拠点のさんぶの森交流センターという形で計画をしております。
②ヤマユリが市の花でなくなり市民がどれだけ親しみを持っているのか、事業のあり方も含めて、慎重に検討してまいります。
③成東病院の機能回復については、最大限の努力をしている中で医師の確保については努力が実っている。
④市民に納得のいく場所へ建設し、しっかりとした運営が出来るのか、そして成東病院をどのような形で維持運営をして行くのか、議会の関心も高めて、山武市の立場からあるべき姿を目標として行きます。

山崎　喜世子　議員

・地球温暖化防止対策について

Q ①山武市役所における山武市地球温暖化防止対策実行計画を策定し市自らの削減目標を掲げ、官民一体となって努力すべきと思いますがいかがですか。
②可燃ごみはプラスチックと紙を分別し、リサイクルする事で約３割は減らす事ができるので、現在より更に分別を進める事で経費とCO_2の両方を削減すべきと思いますがいかがでしょうか。
③山武地域にある森林資源を利用したバイオエタノールの製造やバイオガスからの発電などを取り入れた循環型社会の構築を目指すべきと思いますがいかがでしょうか。

A ①まず職員が自覚を持ち市民の皆さんにも意識を持っていただくために、広範囲に呼びかけて作るように指示し策定する方向です。
②熱量の高いごみの混入がどんどん増えているので、炉の寿命を延ばすためにも分別収集に更に取り組みます。
③畜産の糞尿や山武地域の杉溝腐病の問題もあるので、その有効利用とうまく兼ね合わせ積極的に構築していきます。バイオマスタウン構想が山武市建設の大きな柱になると考え取り組みたい。

春原　昌子　議員

・「安心・安全なまちづくり」について
・教育問題について

Q ①防犯対策の一つである防犯灯の設置について、一日中ついている箇所、器具の不具合等の把握と対応はどのようにしているか。
②山武北小前からアルバックまでの市道路線、県道八日市場八街線の一部区間の整備についての進捗状況。
③道路や住宅に木の枝等がかぶさっているため、街灯があっても薄暗く不審者等も多い場所の対応について
④青色回転灯車の市内全域パトロールの進捗状況について
⑤「子どもの居場所づくり」は、将来必要であると考えますがどのように考えるか。